

ちばセンセイの健康ワンポイントアドバイス

まだまだ朝晩は寒い日が続いていますが、日の出が早くなり、日の入りが遅くなり、確実に春が近づいてきています。季節の変わり目は風邪を引きやすくなることがあります。外に出るときは温かい格好をしてくださいね。

前回はインスリン分泌を増やすSU薬についての説明をしました。1日1～2回飲むタイプの薬ですが、それよりも作用時間が短く、ご飯を食べる直前に飲んで、食後の高血糖を抑えるタイプの薬（シュアポストなど）もあります。これもSU薬同様、低血糖を起こす可能性があるため、十分に注意しなければなりません。インスリン分泌を促すのではなく、消化後のブドウ糖の吸収を遅らせて食後の高血糖を抑える α グルコシダーゼ阻害薬（ベイスンなど）もあります。こちらは低血糖を起こす可能性は低いのですが、腸に働きかけるので、腹部膨満感や放屁などの副作用が出ることがあります。

インスリンはしっかり出ているのだけれども、血糖がちゃんと下がらないということもしばしば見受けられます。それはインスリン抵抗性が生じているからです。それを改善するタイプの薬（アクトスなど）もあります。昔からある薬なので、薬代が安いというメリットはありますが、体重が増えやすいとか浮腫が起こることがあるという副作用があるので、使える患者さんが限られているということがあります。

今までお話ししてきたように、糖尿病には様々な薬があり、その人の状態や他の病気などを総合的に判断して、その人に合うように薬を決めています。

大楽毛 2-2-27 Tel64-6650
ちば内科クリニック 院長 千葉 淳